

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成30年8月23日 (2018.8.23)

【公表番号】特表2017-521499(P2017-521499A)

【公表日】平成29年8月3日 (2017.8.3)

【年通号数】公開・登録公報2017-029

【出願番号】特願2017-523191(P2017-523191)

【国際特許分類】

A 6 1 K 33/24 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/44 (2006.01)

A 6 1 K 31/506 (2006.01)

A 6 1 K 31/7068 (2006.01)

A 6 1 K 31/517 (2006.01)

A 6 1 K 31/404 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 33/24

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 31/44

A 6 1 K 31/506

A 6 1 K 31/7068

A 6 1 K 31/517

A 6 1 K 31/404

【手続補正書】

【提出日】平成30年7月10日 (2018.7.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

酸化セリウムナノ粒子 (CONP) の有効な用量を含む、放射線及び化学療法剤の治療的に有効な用量と組み合わせ、がんを治療するための医薬。

【請求項 2】

CONP の有効な用量並びに放射線及び化学療法剤の治療的に有効な用量が、組み合わせて投与される、がんを治療するための医薬。

【請求項 3】

CONP の有効な用量が、CONP の非存在下での放射線及び / 又は化学療法剤の治療的に有効な用量と比較して、放射線及び / 又は化学療法剤の治療的に有効な用量を低下させる用量である、請求項 1 又は 2 に記載の医薬。

【請求項 4】

放射線及び / 又は化学療法剤の用量が、(i) CONP の非存在下で現行の標準治療において用いられる用量又は (i i) CONP の非存在下で腫瘍を治療するための有効量のいずれかの、約 1 % から 90 % の間、約 1 % から 80 % の間、約 1 % から 70 % の間、約 1 % から 60 % の間、約 1 % から 50 % の間、約 1 % から 40 % の間、約 1 % から 30 %

の間、約 1 % から 2 0 % の間、又は約 1 % から 1 0 % の間である、請求項 1 又は 2 に記載の医薬。

【請求項 5】

C O N P 及び / 又は化学療法剤が投与される後に、放射線が投与される、請求項 1 又は 2 に記載の医薬。

【請求項 6】

C O N P 及び / 又は化学療法剤が投与される前に、放射線が投与される、請求項 1 又は 2 に記載の医薬。

【請求項 7】

C O N P 及び / 又は放射線が投与される前に、化学療法剤が投与される、請求項 1 又は 2 に記載の医薬。

【請求項 8】

C O N P 及び / 又は放射線が投与されるのと同時に、化学療法剤が投与される、請求項 1 又は 2 に記載の医薬。

【請求項 9】

C O N P 及び / 又は放射線が投与される後に、化学療法剤が投与される、請求項 1 又は 2 に記載の医薬。

【請求項 1 0】

C O N P が、約 1 ナノメートルから約 2 0 ナノメートルの間、約 3 ナノメートルから約 1 5 ナノメートルの間、約 3 ナノメートルから約 1 0 ナノメートルの間、又は約 3 ナノメートルから約 5 ナノメートルの間の粒径を有する、請求項 1 又は 2 に記載の医薬。

【請求項 1 1】

C O N P の有効な用量が、患者体重 1 キログラム当たり約 1 ナノグラムから患者体重 1 キログラム当たり約 5 0 ミリグラムの間、患者体重 1 キログラム当たり約 1 ナノグラムから患者体重 1 キログラム当たり約 5 ミリグラムの間、患者体重 1 キログラム当たり約 1 ナノグラムから患者体重 1 キログラム当たり約 0 . 5 ミリグラムの間、患者体重 1 キログラム当たり約 1 0 ナノグラムから患者体重 1 キログラム当たり約 0 . 5 ミリグラムの間、患者体重 1 キログラム当たり約 2 0 ナノグラムから患者体重 1 キログラム当たり約 1 0 0 マイクログラムの間、又は患者体重 1 キログラム当たり約 1 0 ナノグラムから患者体重 1 キログラム当たり約 1 0 マイクログラムの間である、請求項 1 又は 2 に記載の医薬。

【請求項 1 2】

C O N P が、C O N P と薬学的に許容可能な担体とを含む組成物の形態で提供される、請求項 1 又は 2 に記載の医薬であって、組成物が、局所、経口、非経口、頬側、舌下、経鼻、直腸、パッチ、ポンプ又は経皮投与によって投与され得る医薬。

【請求項 1 3】

組成物が、局所組成物である、請求項 1 2 に記載の医薬。

【請求項 1 4】

局所組成物が、C O N P、界面活性剤、油及び水を含む、請求項 1 3 に記載の医薬。

【請求項 1 5】

組成物がマイクロエマルジョンである、請求項 1 2 に記載の医薬。

【請求項 1 6】

投与後の患者の血漿中の C O N P の全濃度が、約 5 ナノモル濃度から約 2 0 0 マイクロモル濃度の間、約 1 0 ナノモル濃度から約 1 0 0 マイクロモル濃度の間、又は約 2 0 ナノモル濃度から約 1 0 マイクロモル濃度の間である、請求項 1 又は 2 に記載の医薬。

【請求項 1 7】

化学療法剤が、プロドラッグである、請求項 1 又は 2 に記載の医薬。

【請求項 1 8】

C O N P の有効な用量を含む、がん治療を受けている患者に投与される放射線及び / 又は少なくとも 1 つの化学療法剤の毒性を低減するための医薬。

【請求項 1 9】

C O N P の有効な用量並びに放射線及び少なくとも 1 つの化学療法剤の用量が、組み合わせて投与される、がん治療を受けている患者に投与される放射線及び / 又は少なくとも 1 つの化学療法剤の毒性を低減するための医薬。

【請求項 2 0】

C O N P の有効な用量を含む、がんを効果的に治療するのに必要な放射線及び / 又は少なくとも 1 つの化学療法剤の用量を低減させるための医薬。

【請求項 2 1】

C O N P の有効な用量並びに放射線及び / 又は少なくとも 1 つの化学療法剤の用量が、組み合わせて投与される、がんを効果的に治療するのに必要な放射線及び / 又は少なくとも 1 つの化学療法剤の用量を低減させるための医薬。

【請求項 2 2】

C O N P の有効な用量を含む、放射線及び少なくとも 1 つの化学療法剤の治療的に有効な用量と組み合わせて、がんを効果的に治療するのに必要な放射線及び / 又は最後の 1 つの化学療法剤の用量の効果を増大させるための医薬。

【請求項 2 3】

C O N P の有効な用量並びに放射線及び少なくとも 1 つの化学療法剤の用量が、組み合わせて投与される、がんを効果的に治療するのに必要な放射線及び / 又は最後の 1 つの化学療法剤の用量の効果を増大させるための医薬。

【請求項 2 4】

がんの治療のために放射線及び化学療法剤の治療的に有効な用量を投与されている患者におけるがんの治療のための、C O N P の有効量を含む組成物。